



## 2026 SUPER FORMULA RACE REPORT

# Sportsland SUGO

Rd. 8

8.8 [sat] - 9 [sun]

[place] スポーツランド SUGO (宮城県村田町)

[weather] [sat] 曇り時々晴れ [sun] 晴れのち曇り

[spectators] 17,000人([sat] 6,400人 [sun] 10,600人)

|          |                        |                  |
|----------|------------------------|------------------|
| Rd.1-2   | MOBILITY RESORT MOTEGI | APR 3 - 5        |
| Rd.3     | AUTOPOLIS              | APR 25 - 26      |
| Rd.4-5   | SUZUKA CIRCUIT         | MAY 22 - 24      |
| Rd.3-6-7 | FUJI SPEEDWAY          | JUL 17 - 19      |
| Rd.8     | <b>Sportsland SUGO</b> | <b>AUG 8 - 9</b> |
| Rd.9-10  | FUJI SPEEDWAY          | OCT 9 - 11       |
| Rd.11-12 | SUZUKA CIRCUIT         | NOV 20 - 22      |



小林利徠斗が、予選6番手の快走を披露。  
地元・東北地区で成長をみせる。  
決勝では小林可夢偉が12ポジションアップ。



「BOAT RACE 2026年全日本スーパーフォーミュラ選手権 Round8 東北大会スポーツランドSUGO」が8月8日(土)・9日(日)にスポーツランドSUGOで行われた。今大会は1レース制で、土曜日の予選でQ3が導入されるフォーマットとなった。KDDI TGMGP TGR-DCは、山形県出身である小林利徠斗が、Q3進出まで0.003秒差に迫る6番グリッドを獲得。決勝ではトラブルが発生したほか、ピット作業違反のペナルティもあり、21位でフィニッシュとなった。小林可夢偉は最後尾から粘り強く追い上げ、12位完走を果たした。

**RESULTS**

**Round 8**

予選 - 決勝 **12 位**

**Rd. 8**

**QUALIFYING 1**  
P - (B Gr) / 1'14.223

**QUALIFYING 2**  
-

**QUALIFYING 3**  
-

**RACE**  
P12 / 1'07.185

**STANDINGS**  
DRIVERS **21 位** | TEAMS **12 位**

**7 小林 可夢偉** | KAMUI KOBAYASHI  
KDDI TGMGP TGR-DC

**RESULTS**

**Round 8**

予選 **6 位** 決勝 **21 位**

**Rd. 8**

**QUALIFYING 1**  
P6 (A Gr) / 1'05.829

**QUALIFYING 2**  
P6 / 1'05.308

**QUALIFYING 3**  
-

**RACE**  
P21 / 1'07.217

**STANDINGS**  
DRIVERS **20 位** | TEAMS **12 位**

**28 小林 利徠斗** | RIKUTO KOBAYASHI  
KDDI TGMGP TGR-DC

**QUALIFYING**

天候:曇り | 気温:29℃ | 路面温度:43℃

午前中のフリー走行1回目は、晴天の中で行われ、一時は路面温度が50℃に達するほどの暑さとなったが、予選開始時は、曇り空のなかでのスタートとなった。スポーツランド SUGOに隣接する山形県出身である小林利徠斗にとっては、今大会は地元凱旋レースとなる。多くの声援が贈られるなかで力強い走りを披露した。Q1Aグループで6番手通過を果たすと、続くQ2では1分05秒308を記録し、一時はQ3進出圏内の5番手に入った。その後ライバルがタイムを更新し、最終的に6番手でQ2敗退となった。

前回のRound7で今季最高位となる9位入賞を果たした小林可夢偉は、フリー走行からマシンのバランスに苦しんだが、調整を重ねて予選Q1へ挑んだ。しかし、アタック中にコースオフを喫し、満足なタイムを記録できず、最後尾から追い上げを狙う。

**RACE**

天候:曇り | 気温:26℃ | 路面温度:35℃

6番グリッドからスタートした小林利徠斗は、ポイント圏内を死守し、前方を走る車両に遅れを取らないペースで周回を重ねた。14周目にタイヤ交換を済ませて、さらなる追い上げを目指したが、トラブルに見舞われ、途中からペースダウン。最終的に16位でフィニッシュしたが、ピットストップ時の作業違反による10秒加算ペナルティを受け、最終結果は21位となった。

一方、最後尾から挽回を目指した小林可夢偉は、1周目で4ポジションアップを果たすと、その後も着実にポジションを上げていき、27周目にピットイン。さらに2つポジションを上げて、12位でフィニッシュ。ポイント獲得は叶わなかったが、12ポジションアップの追い上げをみせた。



Driver  
小林可夢偉

けっこう厳しい戦いとなりました。前回の富士で良かった部分を持ち込んできましたが、それがうまくハマらなくて迷走した部分がありました。その中で決勝はできる限りのことをやって、挽回しました。ただ、もうちょっと上の順位にいきたかったですし、ポイントが獲れなかったのは悔しいと思います。次回は富士での2連戦となりますが、予選から良い走りをみせて、ポイントを獲得したいと思います。

Driver  
小林 利徠斗

予選に関しては、完璧ではないですけど、過去一番の調子の良さでした。それを結果に繋がられたのは良かったです。決勝レースは、トラブルが出てからは、なかなかペースが上がらず苦しいレースになりました。ただ、トラブルが出る前の10周くらいはかなり良かったので、そこはひとつ成長できたかなと思います。

Team Director  
片岡 龍也

今回は、利徠斗が素晴らしい活躍でポテンシャル以上のパフォーマンスを見せてくれたと思います。その一方で、チームのためにいろいろとトライしている可夢偉は、マシンバランスに苦しんだ状態で予選は最後尾になりました。決勝ではポイントまで届きませんでしたが、諦めない姿勢でポジションを上げてくれました。利徠斗に関しては、トラブルの影響で途中からペースが上がらなくなりました。ピット作業違反でペナルティもありました。今大会ではスピードを見せられましたが、まだまだ我々の力が不足しているところも感じました。次戦以降は強さも増していきたいと思います。
















